

生涯学習・まちづくりQ&A

くみんなが進める防犯のまちづくり

Q 県内では、ひったくりや路上強盗などの街頭犯罪、また、住宅や事務所への侵入盗など生活に身近なところでの犯罪が多発しており、平穏な生活を脅かしていますが、どのような気をつけなければいいでしょうか。

A 八潮市における平成15年中の刑法犯認知件数は、2066件、犯罪発生率は27・17パーセントと県内第16位となっています。

★防犯のまちづくり
これらの犯罪は、犯罪を誘発する「機会」をとらえて行われるため、「犯罪の機会」を減少させることが重要です。

このため、行政、地域住民、事業者などがそれぞれの役割を果たしながら、連携を図り犯罪を起させない地域環境づくりを行うことが大切です。

犯罪者は、地域の目がある、住民同士のつながりが強い地域などを避ける、といわれています。例えば、次のようなちよつとしたことを行えば、犯罪は相当防ぐことができます。

★具体的な犯罪予防対策
【個人や家庭では】
・空き巣予防として、ドアや窓に補助錠を付ける。防犯ガラスに交換する。足場となるようなものを置かない。

【地域では】
・ひったくり予防として、自転車の前かごに防犯ネットを取り付ける。車道側にバッグなどを持たない。



入谷町会防犯パトロール隊

「自らの安全は、自ら守る」という心構えを持つとともに、行政、警察、地域の住民の方々、事業者など、みんなで力を合わせて、安心で安全な地域づくりを進めましょう。
交通安全課 ☎305

生かしてあります あなたの税

子どもたちの健やかな成長のために—乳幼児医療費制度—

市では、乳幼児の保健の向上と福祉の増進を図り、子育て家庭の負担を軽減させるために、経済的支援として通院・入院ともに医療費の一部を助成しています。

また、乳幼児医療費制度の充実を図るため、制度の一部を次のとおり改正し、平成16年4月診療分から適用しています。

- ①現物給付（窓口払いが不要）の実施
市内の指定医療機関等で受診するときに、受給資格証を提示することにより、医療費（保険診療分）の窓口での支払いは原則として不要となりました。（限度額は月21,000円まで）
- ②自己負担金制度の廃止
3・4歳児の通院にかかる月1,000円の自己負担金制度を廃止しました。
- ③通院についての支給対象を5歳児まで拡大
通院等についての支給対象を、これまでの4歳児（満5歳未満）から5歳児（満6歳未満）までに拡大しました。

年度	予算額(千円)	前年度比(%)	対象年齢	人口(人)	市民1人当たりの負担額
平成14年度	95,367	13.6	0～4歳	75,340	1,265円/人
平成15年度	74,724	△21.6	0～4歳	75,589	988円/人
平成16年度	123,252	64.9	0～5歳	76,121	1,619円/人

※市民1人当たりの負担額は、それぞれ予算額を4月1日現在の人口で除した額です。

※平成15年度の予算額が前年に比べ減っているのは、0～2歳児の保険診療一部負担金が3割から2割に引き下げられたことに伴い、支給額が減るためです。

児童障害課 ☎209、427

こまち教育委員会

「市民スポーツ活動の推進」

だれもが健康で明るく生きがいのある豊かな人生を送れるよう、スポーツ振興課では、「生涯スポーツ・レクリエーション社会」の実現を目指しています。この社会は、生涯にわたって、自らのライフステージや目的、考え方に応じて、スポーツやレクリエーションを楽しもうというものです。



市民体育祭での綱引き競技

具体的には、①市民参加による各種活動の推進として、国民体育大会開催への協力、学校体育施設の活用、開いている。また、文部科学省が策定した「スポーツ振興基本計画」の中で、平成22年度までには、各市町村に少なくとも一つは総合型地域スポーツクラブを育成する、とされています。総合型地域スポーツクラブとは、地域に住んでいる皆さんが主体となって運営するスポーツクラブのことです。このクラブは、複数のスポーツ種目が目ざされ、子どもから高齢者まで、初心者からトップレベルの競技者まで、それぞれの年齢・興味・技術レベルに応じて活動できるという特徴があります。本市での設立に向け、調査・研究をしています。今後も、だれもが、いつでも、どこでも、自発的・主体的に親しめる、生涯スポーツ・レクリエーション社会の実現を目指していきます。

「背ラベル番号」は、本の住所のようなものです。この番号が分かれば、本棚へ行って番号を探し、目的の本にたどり着けるでしょう。

「商品先物取引」トラブルに気をつけて！

「商品先物取引をやってみませんか？必ず儲かります！」というセールストークにのせられ取引を開始したものの、多額の被害を受けたという相談が寄せられています。

商品先物取引を勧められ30万円から始めましたが、利益が出たり、損をしたりを繰り返すうちに、いつのまにか1300万円も投資してしまいました。現在、さらに200万円の支払いを求められていますが、資金が全くないので取引をやめたいのですが、お答えします。

昨年度の「商品先物取引」に関する相談件数250件のうち、被害者は30代から60代までの方が約8割を占め、サラリーマンが約4割です。このことから、ごく普通の判断能力のある方が被害にあっていることが分かります。

事例の相談者は50代のサラリーマンですが、一時は利益を得たことがあったものの、結果的には3100万円も失ってしまいました。では、なぜこのような多額の被害を受けたのでしょうか。それは、「商品先物取引」が一般の人には不向きな「投資」であるからです。

理由として、次の3点を挙げます。

- ①平成9年の資料では、10人中8人が損をしています。この10人の中には、取引に専念する社員のいる会社や銀行も含まれていますから、一般の消費者が利益を得ることがいかに困難であるかが分かります。
- ②「信用取引」なので、商品価格の1割程度の金銭を預けること（委託証拠金）で投資に参加できます。このことは、委託証拠金の10～20倍の額を売買することを意味します。営業員の話や相場の上下に翻ろうされて、預けた委託証拠金の大半を失うこともしばしばです。
- ③「株取引」と同様に、取引のたびに手数料を支払う必要がありますが、相談者が支払った手数料は、合計840万円にもなっていました。相談者は、3100万円もの損害を受けているのに、一方で先物取引会社に840万円の利益を与えていたのです。

皆さんは、「商品先物取引」はもちろん、「投資」には「必ず儲かる」とはありえないことを肝に銘じておく必要があります。

農工商振興課 ☎336、県消費生活支援センター春日部 ☎0481734110999

BOOKS 図書館だより

前月号に続き、本の探し方の基本についてご案内します。

本には住所がある
前回のお話で、本を探すには、利用者端末が便利なお話を伝えました。さて、探している本はどこにあるのでしょうか？

利用者端末で検索していると「背ラベル番号」と出てきます。これは本の背にある四角いラベルの番号のことです。



背ラベル番号

本は分野別に並んでいる
背ラベル番号は、適宜につけられているわけではなく、「日本十進分類法」という、日本の多くの図書館で使われている分類方法によって付けられています。

この分類方法で本を並べると、本の内容やテーマによって自然に本が並びかみかみになっていきます。ですから、この並び方に慣れると、調べ物などをすると、自分が関心の分野の本を探すと、ききなどにも便利です。

◆休館日のお知らせ
八幡・八條図書館 8月31日(火)

八幡 ☎995-6215
八條 ☎994-5500